

第699回「医療」編集会議議事録

日時 平成20年12月12日 14:30-16:30

場所 於 松本楼 (日比谷)

◎出席者

白井委員長, 伊藤幹事, 河内, 小林, 溝口, 岡田, 榛葉, 田中, 角田, 柳下各委員

事務局: 大西 編集室: 菊地, 水谷 第一資料印刷: 井上 日本医学広告社: 日下

◎審議事項・要旨

- 1) 川村委員の後任として新編集委員となった田中委員より挨拶があった。
- 2) 第698回の編集会議議事録を確認し, これを承認した。
- 3) 第62巻12号および第63巻1号発行・印刷状況報告があった。
- 4) 医療第63巻1号の仮綴誌の確認を行い, 一部訂正を行った。その他の訂正及び今月の用語の意見等は後日メールにて確認することとした。また今後の特集テーマも検討することとした。
- 5) 12月8日現在の原稿収集状況の報告があった。原稿の保有数は37編(総説5編, 解説2編, 特集7編, 論説1編, シンポ5編, 報告3編, 未分類14編)である。
- 6) 総説5編, 特集7編, 解説2編, 報告2編, 論説1編, シンポ4編, 未分類14編の査読結果の審査を行い, 別紙の通り4編を受理した。また08-080論文がほぼ同文章にて他雑誌掲載済みであることにつき審議し, 文章変更後, 再度投稿いただけるよう委員長から著者に依頼することとした。08-020論文でも同様なことが生じており, こちらも筆者に連絡することとした。今後の対策として, 来年度からは同じく原稿を依頼している「医療の広場」編集者と話し合い依頼につき決定することが承認された。
- 7) 第63巻2号目次案につき掲載内容の審議を行い, 特集のエディトリアル執筆者につき湯浅前委員長

に依頼することとした。また, 原著論文の掲載論文が未定のため, 投稿があり次第掲載できるように作業をすすめることが報告された。

- 8) 第62回国立病院総合医学会シンポジウム発表内容の当誌への掲載依頼につき, 前回会議にて決定したもの以外で掲載できそうなテーマを審議し, 「医療安全-危機管理から安全管理へ」を岡田委員, 「結核医療の今日と将来」を四元委員・柳下委員いずれか担当することとなった。その他のテーマについても再度検討することとした。
- 9) 今年度の国立医療学会理事評議委員会において国立医療学会定款・定款施行細目が改訂されたこととともない, 来年度から学会費が変更になることが確認された。
- 10) 「日本発☆世界のくすり」特別増刊配布状況につき, 国立病院総合医学会にて700部程度配布し, 残部は各施設, 「医療」交換先の図書館等に寄贈することが事務局より報告された。
- 11) 国立病院機構共同研究報告の本誌への掲載について伊藤幹事より提示された掲載形式のひな型を検討し, コーナーを設けて掲載することが決定した。21年4月報告書提出予定者に当誌掲載を依頼する予定となるが, 詳細については後日検討することとした。
- 12) 学会HPへの医療掲載論文(本文)掲載につき, 審議の結果, 発行より1年経過したものをPDF形式にて全論文掲載することし, 過去号も1巻1号より掲載することが決定した。
- 13) 61巻から62巻にかけて, 表紙色が指定色より変更していたことにつき, 印刷会社より説明があり, 62巻12号より本来の色に戻し, 63巻も同色を継続することを確認した。
- 14) 次回の編集会議は第三金曜日の1月16日に決定し, 次回・次々回は国立がんセンター中央病院にて開催することを確認した。

3号掲載予定目次

■ 解 説

脳虚血における脳循環代謝の基礎知識とMR灌流画像の臨床応用三 原 太 ほか

■ 特 集: がん医療における全人的な多職種チーム医療の可能性と課題

腫瘍内科医の役割安 井 久 晃

がん看護専門看護師の役割小 山 富美子

言語聴覚士の役割四 釜 淳 子

放射線技師の役割大 山 正 哉

栄養士の役割石 長 孝二郎

■ 総合医学会報告

シンポジウム: 病院経営基盤の安定 一病院が自立していくために一

経営健全化に向けた取り組み 一事務部門からの企画・立案事例一座長 早 川 敏 博 ほか

国立病院機構の自立に向けて 一何を考えどう行動すべきか一樋 口 博 弥

.....北 川 博 一

■ 図 説

放射線診断・治療シリーズ No. 3

X線消化管の実際 下部消化管永 井 優 一 ほか

■ 日本発☆世界のくすり ⑦

セボフレン (丸石製薬)

■ 会 報

編集余滴, 編集会議議事録